



10月4日(日)、ふれあいのもりと三笠山自然公園で開催された全道規模のフェスタに、道内各地から約1,100人が訪れました。

植樹場所は使われなくなったモトクロスのコース。参加者が歩きやすいように木質チップが敷き詰められました。

参加者は町木のハルニシやエゾヤマザクラなど約300本を1本1本ていねいに植え、森を守り育てる大切さを体で感じていました。

植樹会場



記念撮影用に横断幕を用意してきた人も

催事会場



キンダーリーブ号
木のおもちゃ体験



新で走るバス「まさ太郎」

地材地消の
展示ブース
取り組み



林業機械(模型)の展示



家具工房
たいもの
展示スペース

式典会場



ふれあいのもりに記念植樹



塩狩太鼓保存会



嗚呼ワットサム



指導林家として永年にわたり貢献されてきた佐藤正男さん(中央)と吉田昭八さん(右)に町から感謝状を贈呈

木育体験



森のお手入れ体験「ツリーイング」



道南杉木育ブロック「スギックモック」



ハンモック



マイスプーン作り



木と木の間を綱渡り「スラックライン」



トドマツからできるエッセンシャルオイル



木棒(きぼう)にメッセージを彫り、きぼうのプールを東北に寄贈

会場の様子



子どもに大人気の芽森(メモリー)ちゃん



推定樹齢300年の「七尺ニレ」から作られたギターを演奏する、元「ふきのとう」の細坪基佳さん



北のうまいもの市(1市3町の商工会)による出店ブースの行列